

村民の生活再建 未来への思い

横山 秀人

私の願い

家族が どこに住んでも

安心して 穏やかに 暮らす

一般社団法人いいたてネットワーク

- 飯舘村の現実を**見える化**
- 暮らしを考える「**きっかけ**」づくり
- 村民の声を**届ける**

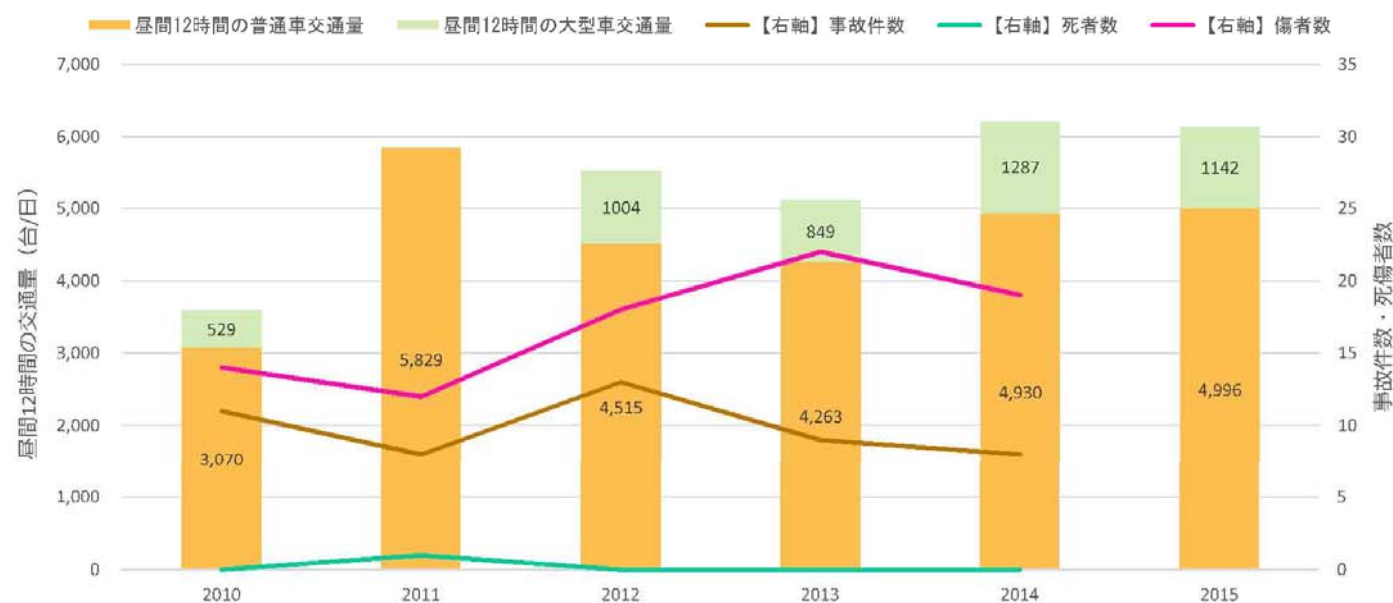
見える化 ① データブック

- グラフ → わかりやすさ
- 経過 → これからの予想
- 共有 → 議論がしやすい

3. 交通量と交通事故の発生件数

- 県道12号線（原町川俣線）飯舘村草野地点における交通量を示す。
- 交通量は震災以降増加し、昼間12時間で6,000台を越すペースとなっている。
- 交通事故件数は横ばいだが、一つの事故による傷者数が増加傾向にある。

飯舘村の交通量と交通事故発生件数

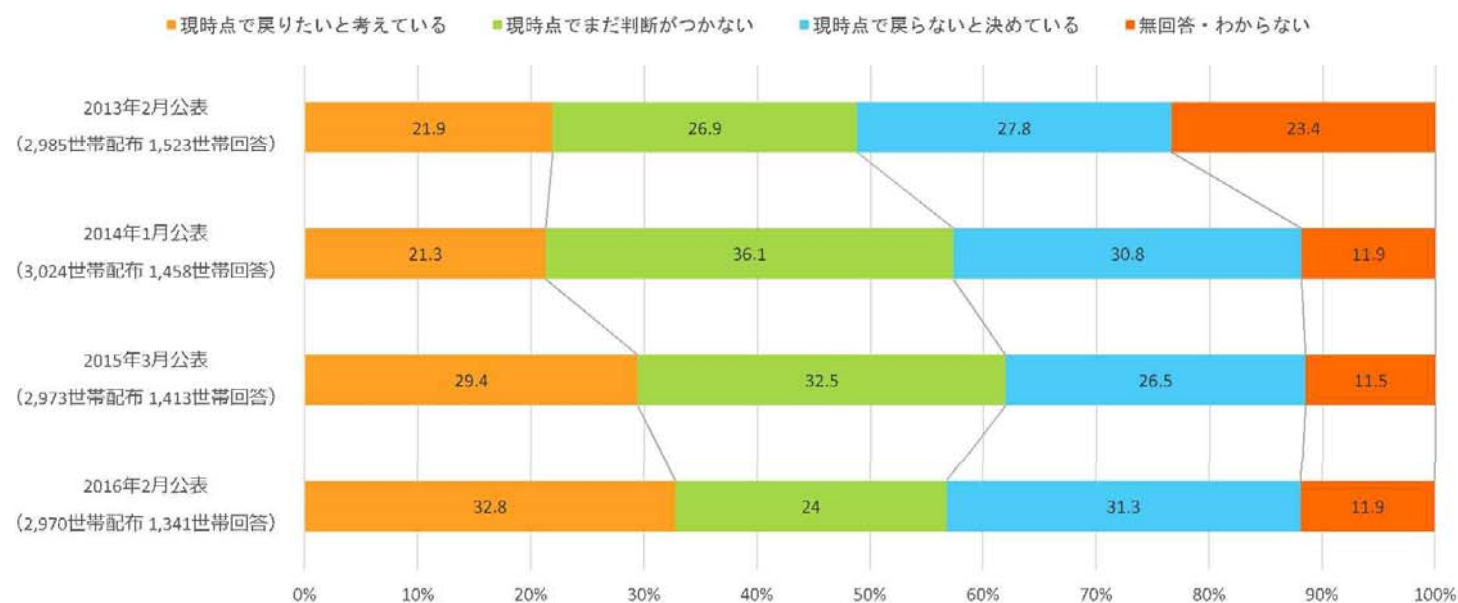


【出典】 福島県：福島県統計年鑑2012～2015、交通量調査（平成22年～27年）
 ※2011年は車種を区別しないで交通量を測定。普通車と大型車の合算値である。

4. 帰還意向（全村4年分）

- 年経過とともに帰村意向者の数が増加。
- 2016年時点で戻りたいと考えている世帯は32.8%、戻らないと考える世帯は31.3%。

飯舘村民の帰還意向の推移（全村4年分）

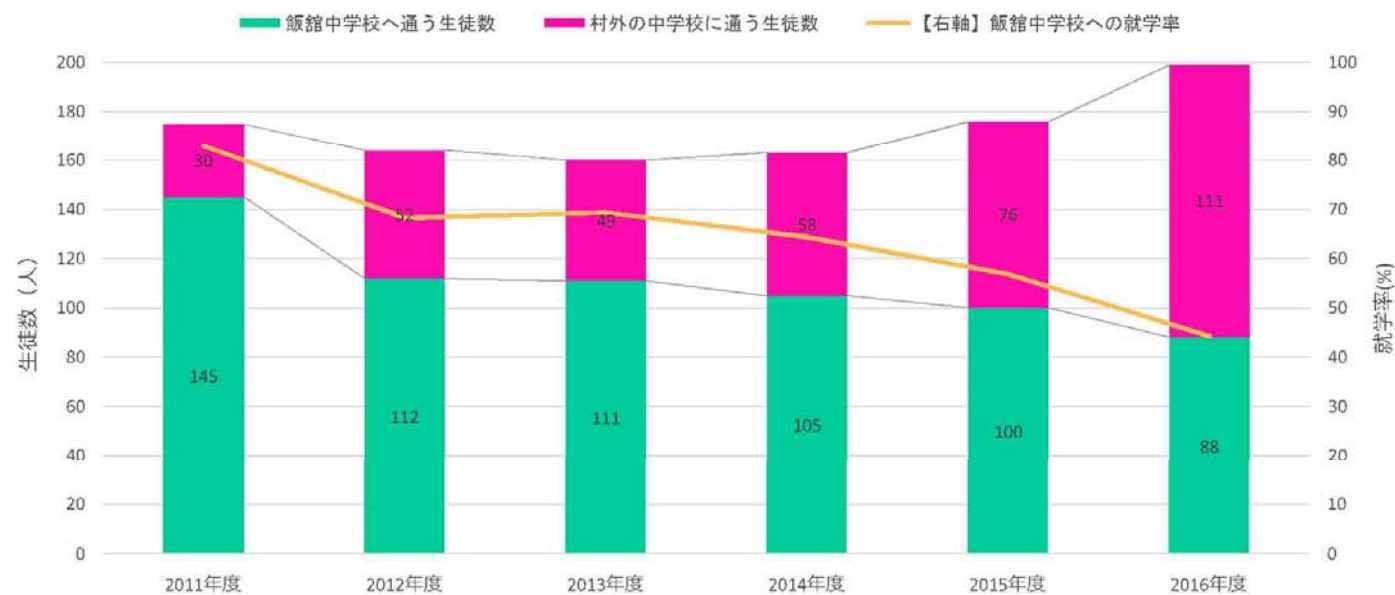


【出典】 復興庁・福島県・飯舘村 飯舘村住民意向調査報告書（平成25～28年）

3. 中学校の生徒数（飯舘村立飯舘中学校）

- 現在、福島市飯野町にある仮設校舎を利用している。
- 2016年度、仮設飯舘中学校への就学率は44.2%。

飯舘村立飯舘中学校 生徒数の推移

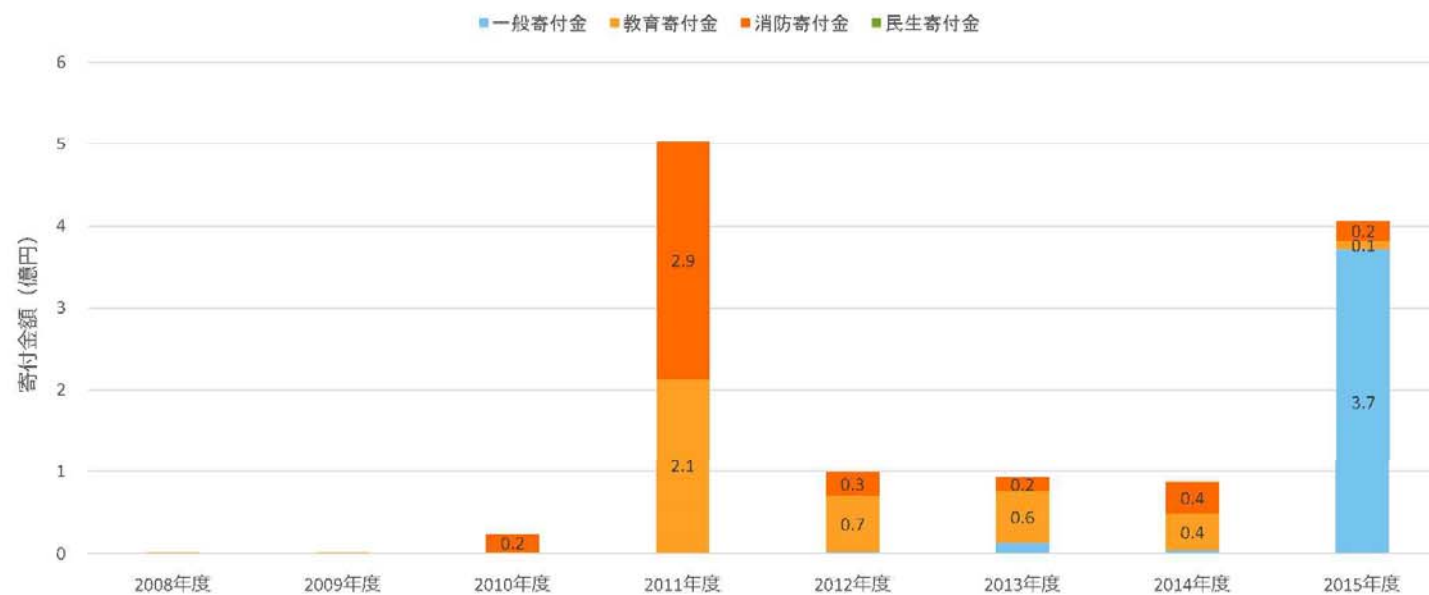


【出典】 飯舘村教育委員会：平成23年度～28年度までの園児・児童・生徒数の推移

7. 飯舘村への寄付金額

- 2015年度は一般寄付金「ふるさと納税（復興までい寄付金分）」が増加した。
- 消防寄付金の内訳は「東北地方太平洋沖地震義援金」、「東日本大震災義援金」である。

飯舘村 寄付金の推移

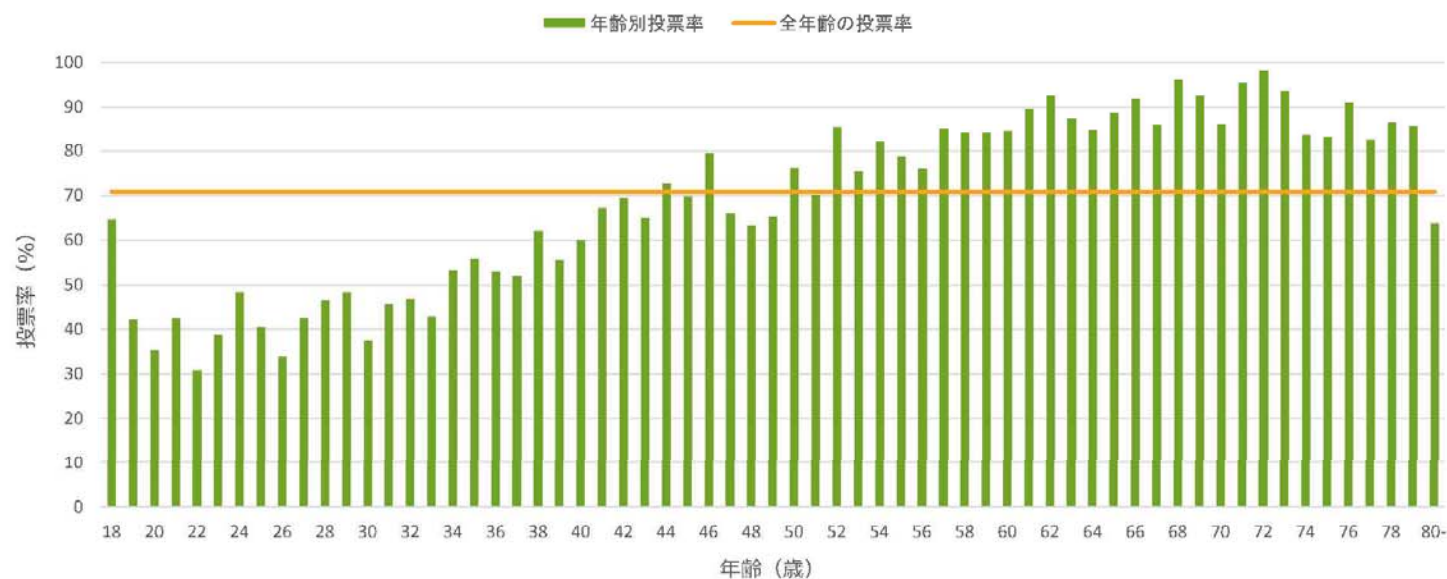


【出典】 飯舘村：飯舘村決算書

8. 飯舘村長選挙の投票率

- 2016年10月16日に投開票された飯舘村長選挙、全体の投票率は70.84%（前回村長選挙となった2004年時は90.09%）であった。
- 19～33歳有権者の投票率は50%を下回った。

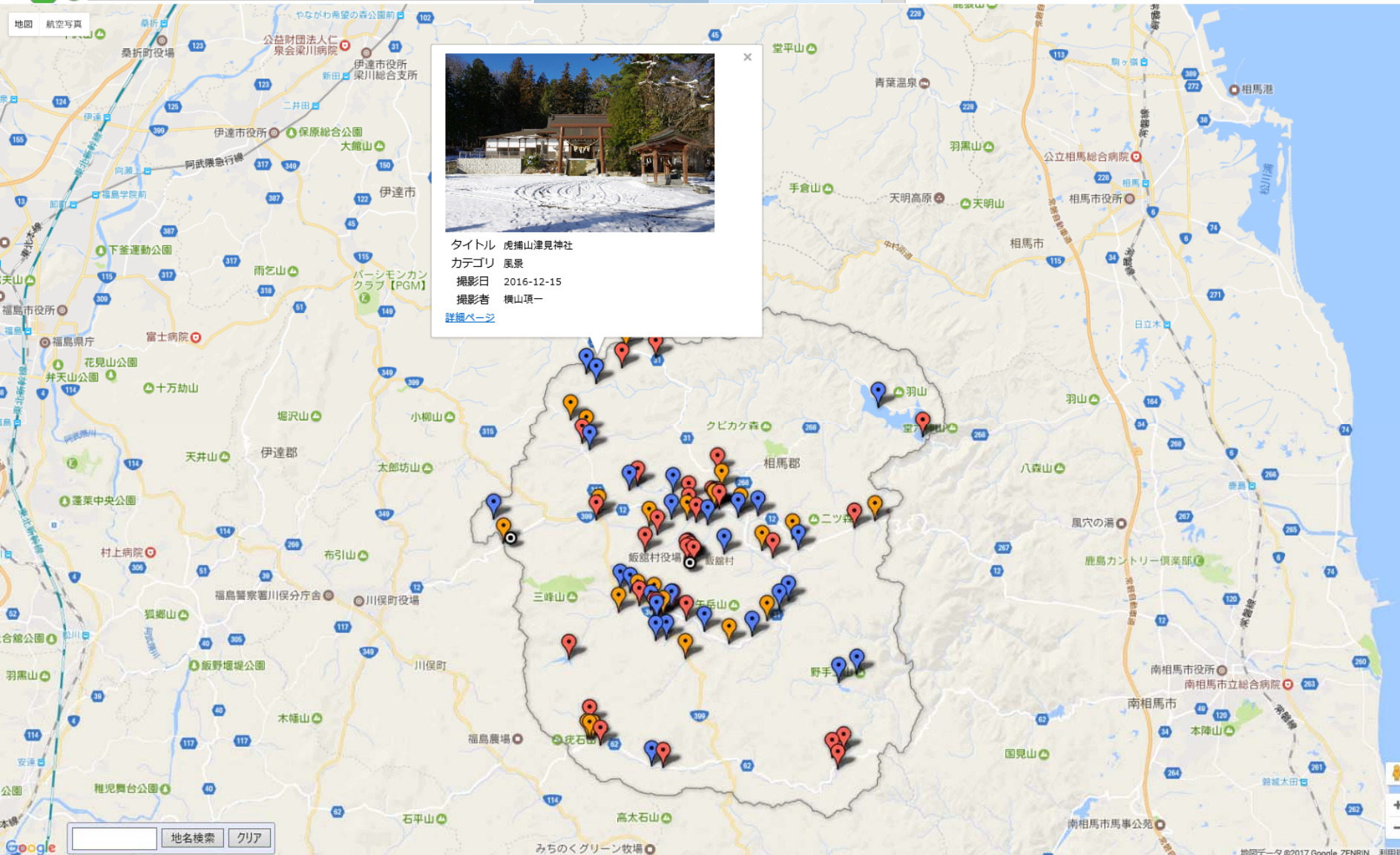
飯舘村長選挙 年齢別投票率



【出典】 飯舘村選挙管理委員会：飯舘村年齢別投票状況

見える化 ② フォトマップ

- 写真 → 現状を知る
- 場所 → より身近に
- 投稿 → 参加



タイトル 虎捕山津見神社
カテゴリ 風景
撮影日 2016-12-15
撮影者 横山 一
[詳細ページ](#)

マップ情報表示切替

- ☒ 飯館村境界線
- ☐ 避難指示前の飯館村
- ☒ 平成28年12～1月の飯館村
- ☒ 投稿画像

避難指示前の飯館村 凡例

- 風景
- 自然
- なつかしいまちなみ

平成28年12～1月の飯館村 凡例

- 施設
- 風景
- 町並み

投稿画像 凡例

- 投稿画像

出典

避難指示前の飯館村: [飯館村デジタルアーカイブ](#)

**いいたて
フォトマップ**



http://www.iitatephoto.net/2017/01/09/toratoriyamatumijinjya/



いいたてフォトマップ | 飯館村の“今”...

いいたてフォトマップ

虎捕山津見神社 | いいたてフォ...



いいたてフォトマップ

[トップページ](#)

[最近の投稿](#)

[飯館村の“今”の写真募集](#)

[壁紙コーナー](#)

[サイト概要](#)

[お問い合わせ](#)



写真が撮影された場所はこの地図の中心です。

地図 航空写真

マップ情報表示切替

- ☒ 飯館村境界線
- ☐ 避難指示前の飯館村
- ☒ 平成28年12～1月

Windows 10 taskbar: Start button and search bar.



Windows 10 taskbar: System tray area showing network, volume, and date/time (22:15, 2017/02/17).

きっかけ ③ 未来を考える会

- 少人数 → たくさん話せる
- テーマ → 深く話せる
- 出合い → 新しい関係

いいたてネットワーク



ワークショップのようす。今後は「女性」「村内で営農する農業者」などを対象に開かれる予定



昨年12月、震災前後のさまざまなデータをグラフ化した「飯舘村の未来を考えるためのデータブック」を一般社団法人Bridge for Fukushima（伴場賢一代表理事）と共同で発行しました

同団体では、データブックを無料で配布しています（送料も無料）。また、村出身の方が4～5人集まれば出張ワークショップも行えるそうです。

連絡・問い合わせ ☎

「いいたてネットワーク」が、少人数で意見を述べ合うワークショップ「飯舘村の未来を考える会」を開いています。サンライフ福島（福島市北矢野目）で開かれた第2回には、避難先で営農する村民4人が参加。農業者の連携や、村内の農地保全について、アイデアを語り合いました。村の農業者としての誇りと故郷への愛着がにじむ発言も相次ぎました。

いいたてネットワーク

一般社団法人いいたてネットワーク（横山秀人代表理事／前田・八和木）は、村民の支援を目的に、意識調査や情報提供等を行っています。昨年データブックを発行。意見を聞き合うワークショップも開催中。活動内容をホームページ上で公開しています。 <http://iitate-network.org/>

1/11

アルパ

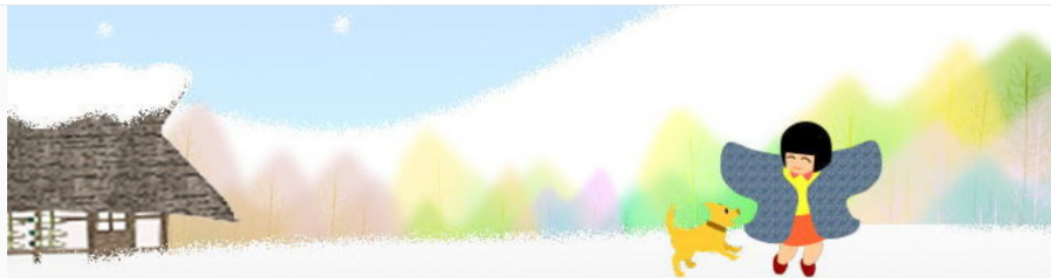
きっかけ ④インターネット自治会

- ・ 時 間 → いつでも
- ・ 場 所 → どこでも
- ・ 参 加 → 自 由

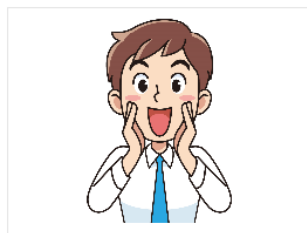
どのように進めるか迷っています

いいいて情報交流サイト

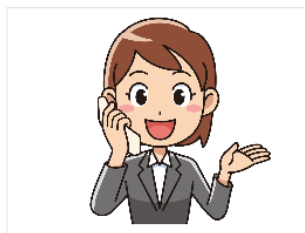
HOME | 情報コーナー | 質問・回答コーナー | 寄稿文・写真・動画



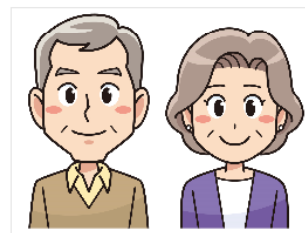
情報コーナー



質問・回答コーナー



村民からの寄稿文・写真など



校正前メモ

現状

- ・避難先が全国にわたっている。
- ・自治会に加入していない世帯が多くある。

(グラフ1 避難先方部)

(グラフ2 自治会非加入世帯数)

目的

- ・飯舘村民を対象としたインターネット自治会の(仮想)交流
- ・飯舘村民を応援してくださる方への情報発信

H29.2.27 追記

飯舘村が、村民交流サイトのスマートフォン用アプリを作成中と聞きました。このサイトは、同様の目的のため、構築しないまま終了の可能性があります。

届ける ⑤ 村民の声

- 飯舘村の未来を考える会
- データブック手渡し感想



飯舘村・飯舘村議会へ

いいたてネットワーク

データブック

未来を考える会

フォトマップ

いいたて農家支援
センター

いいたてドローン
サービス

飯舘村関連本・
DVD

運営団体紹介

「飯舘村の未来を考える会」議事録等

HOME > 「飯舘村の未来を考える会」議事録等

「飯舘村の未来を考える会」に参加された村民の方の声とデータブックをご覧になった方から直接いただいた声を項目別にご紹介します。＜速報版＞

個人的な情報も含まれますので、一部抜粋、補完等のうえ公開します。

- 第0回 平成28年11月24日 村民参加者4名
- 第1回 平成28年12月19日 村民参加者6名(20、30、40、50、60代)
- 第2回 平成29年 1月11日 村民参加者5名(農家)
- 第3回 平成29年 1月25日 村民参加者6名(仮設住宅への避難者)
- データブック説明＋意見・提案等交流会
- 第1回 平成29年 2月 8日 村民参加者10名(仮設集会所)

※データブックをご覧になった方の声も含まれています。●で表示しています。

＜新たなデータ（グラフ）等のご要望＞

- カスミンウで再開したいという意向がある。投資額と売り上げ、利益等が予測できる情報が必要、欲しい。
- 子牛の販売額(イコール、母牛の導入額)のデータがあるとこれからのことを検討しやすい。
- 汚染土等の仮置き場の数、フレコンバックの数の推移や現状もわかると良い。
- 復興の指数が土地利用の状況なのかもしれない。
- 村の財政が今どうなのか、これからどうなるかの情報も欲しい。
- 飯舘村に戻るのには2～3割。そのうち農業をするのはどれくらいだろうか？これだけの土地(2,000ha以上)を維持していくためにはどうするべきなのかをデータで考えてほしい。そもそも2,000ha以上を手入れ、維持するためにはどれだけの労力があるのか、それを算出してほしい。
- 必要な景観、それを維持するためにはどれだけのコストがかかるのか、出してほしい。

連携 ⑦ 農家支援

次の世代へつなぐために

- ・農業情報提供
- ・青色申告（記帳）
- ・農家承継 など

連携 ⑦ ドローンサービス

新事業（土地利用含む）

- ・空撮
- ・土地を練習場
- ・村外のお客様（レース等）

未来への思い

飯舘村民が どこに住んでも

安心して 穏やかに 暮らす